

国際バカロレア機構による評価訪問について

DPコーディネーター 北爪 一久

I Bコースの開設から5年目を迎えた年度として、国際バカロレア機構による評価訪問が3日間にわたって実施された。以下に、評価訪問の概要と、評価訪問を受けて感じた本校I Bコースの課題と今後の展望について述べる。

(1) 事前提出資料

原則として、評価訪問の45日前までに以下の資料を所定のウェブサイトへ保存する。

	資料	内容
1	Self-Study Questionnaire	ディプロマ・プログラムの学校としての自己評価
2	School and programme profile	学校情報
3	Legal entity and licensure documentation	学校組織としての公的な認可を示す文書
4	Statement of acceptance	教育長、学校長のサイン
5	School information	学校案内パンフレット
6	Parent or legal guardian and student complaints procedures	苦情の申し立てと回答の手続き
7	School mission and vision statements	学校の使命と教育方針
8	School strategy	学校の教育戦略
9	Organization chart	学校組織体制
10	Job description(s) for the head of school or designee(s)	管理職の業務内容
11	Job description(s) of the programme coordinator(s)	DPコーディネーター、EEコーディネーター、CASコーディネーターの業務内容
12	Programme budget	予算・人的資源
13	Professional development information	教員養成
14	Access and/or admission policy	入学者受け入れ方針
15	Inclusion policy	特別支援に関する方針
16	Academic integrity policy	学問的誠実性方針
17	Language policy	言語方針
18	Assessment policy	評価方針
19	Collaborative planning description and schedule	協働設計とその日程

20	Calendar or schedule of school deadlines	提出物の締切り日程
21	Sample schedules for each grade/year of the programme	各年次の授業数のサンプル
22	Curriculum documentation	各科目の単元計画書
23	Extended essay supervision	課題論文の指導方針
24	CAS handbook	CASハンドブック
25	CAS experience samples	CAS体験の事例(3つ)
26	Remote evaluation visit agenda	評価訪問の議題
27	Information on school facilities	学校施設情報
28	Class recordings for each subject	各科目の授業録画
29	Grade report template	成績通知表のひな形
30	Storage facility for exam materials	試験資材用保管施設

(2) 評価訪問の実際

参加者はI Bコースの授業を担当する教員に加えて、神奈川県教育委員会、I Bコースの保護者・生徒と学校コミュニティ全体にわたり、それぞれが評価訪問者との面談を行った。以下に、3日間の主な日程を示す。

【1日目】

時刻	内容
09:00～09:30	校長とDPコーディネーターとの打合せ
09:30～10:00	学校施設の見学
10:10～11:00	教育委員会との打合せ
11:10～11:40	DPコーディネーターとの打合せ
11:50～12:40	授業見学(生物)
13:25～14:15	プログラムの基準と実践の振り返り(目的)
14:25～15:15	プログラムの基準と実践の振り返り(環境)
15:25～15:35	1日目の振り返り(DPコーディネーター)
15:45～16:15	生徒面談(Year2)

【2日目】

時刻	内容
09:00～09:10	DPコーディネーターとの打合せ
09:10～09:40	保護者面談
09:50～10:40	プログラムの基準と実践の振り返り(文化)
10:50～11:40	生徒面談(Year1)
11:50～12:40	プログラムの基準と実践の振り返り(学習1)
13:25～14:15	プログラムの基準と実践の振り返り(学習2)
14:25～15:15	授業見学(日本語A)
15:25～15:35	2日目の振り返り(DPコーディネーター)

【3日目】

時刻	内容
09:00～09:15	DPコーディネーターとの打合せ
09:15～09:40	プログラム開発について(計画とプロセス)
09:50～10:40	授業見学(English B)
10:50～11:40	プログラム開発について(生徒への影響)
11:50～12:40	プログラム開発について(まとめ)
13:25～14:15	評価訪問者のレポート作成時間
14:25～15:15	結論
15:25～15:55	教育委員会との振り返り

(3) 評価報告書の概要

評価訪問の2週間後に国際バカロレア機構より評価報告書が送付され、内容を全教職員と共有した。以下に、その概要を示す。

項目	内容
学校の背景	沿革、学校目標、教育方針、学校行事、特徴など
プログラムの強み	重要な使命の共有、必要不可欠な組織・システム・資源の提供、学校文化の創造、効果的な学習の実践の観点から分析
必要条件	プログラムを実践する上で必要な条件の確認
基準に対する評価	重要な使命の共有、必要不可欠な組織・システム・資源の提供、学校文化の創造、効果的な学習の実践の観点から評価
プログラム開発の計画と分析	プログラム開発の強みと検討事項
今後のプログラム開発	評価チームが特定したさらに発展させることが可能な項目
評価チームの結論	評価チームの結論

(4) 本校 I B コースの課題と今後の展望

評価報告書における評価チームの結論では、「将来的には、明確な責任とスケジュールを示した包括的な戦略計画の策定が期待される」と述べられている。具体的には、3つのコア科目と6つのDP科目において行われている効果的な指導方法および指導上の改善点を I B コース全体で共有し、組織的・戦略的に教育プログラムの改善を図ることが重要であると考えている。

私は、ディプロマプログラム・コーディネーターの責任として、I B コースの教育プログラムの改善に向けたスケジュールを示し、協働的な設計により改善を進める所存である。